

## ザカート：イスラームにおける れんたいの かけはし

### しんあいなる ムスリムの みなさま！

イスラームのいつのはしらのひとつにあたるザカートは、ムスリムどうしのどうほうあいのかけはしです。それはれんたいとわかちあいのもっともうつくしいあらわれのひとつです。ザカートとは、こじんをふりに、しゃかいをはんえいにみちびくすうはいごういす。それはぜんうのアッラー（スプハーナワタアーラー）へのふくじゅうと、きょうだいしまいにたいするせいじつさのあらわれです。

ザカートは、くるしんでいるひとのねがいごとのなかにだけそんざいするものではありません。じっさいに、まずしいひとのためのイフタルのよろこびのみなもとたることをいみします。きずつき、かなしみにくれるこころのいやしとなぐさめになることであり、みよりのないこのあたまをなでるじひのてとなり、よくあつされたひとのかてとしてやくにたつことです。

### しんあいなる ムスリムの みなさま！

ザカートとは、しゅうきょうてきにはゆうふくであるとみなされるしんこうしゃが、じぶんのとみのいちぶをこまっているひとびととわかちあうことです。じっさいには、しんこうしゃはザカートをさしだすことにより、こんきゅうしているきょうだいしまいにそのせいとうなとりぶんをはいぶんしていることとなります。ぜんうのしゅ（スプハーナワタアーラー）は、クルアーンにおいて、そのけいけんなしもべたちのことをつぎのようにかたっておられます。「……こうものも、うばわれたものも、かれらのざいのなかからとりぶんにあずかっていた。」<sup>1</sup>

### しんあいなる しんこうしゃの みなさま！

ぜんうのしゅ（スプハーナワタアーラー）は、じんせいのみちしるべであるクルアーンにおいてこうつげておられます。「『……また、あなたがたが[ぜんのために]ついやしたものは、なにであれかの おかたが おぎなうだろう。かてを もたらすものとして さいりょうのおかた。』」<sup>2</sup> このしょうくは、ザカートがけつしてとみをへらすものではないこと、むしろとみをふやし、らいせのかてにもなることをおしえています。ひとびとをげんせのそくばくからかいほうし、しんのじゅうへとみちびいてくれます。

ザカートはしゃかいのへいわをほしようするものです。このどくとくすうはいのこういは、わたしたちのけつそくとれんたいをふかめ、どうほうあいをつよめます。こころのせまさやこのよへのしゅうちやくといたわるいしゅうかんからわたしたちをきよめてくれます。しんこうしゃをつみからきよめ、しゅのよろこびとゆるしをえられるようにしてくれます。よげんしゃは、こうしたザカートのびとくについてこうかたっています。「みずがひをけすのとおなじように、じぜんはあくぎょうをけしさせてくれる。」<sup>3</sup>

<sup>1</sup> Dhariyat, 51/19.

<sup>2</sup> Saba, 34/39.

<sup>3</sup> Tirmidhi, Jumu'ah, 79.